資　料　1

「京都の知恵と文化を生かした環境懇話会」

―　論点整理　―

課　　題	人口爆発と食糧危機・地球温暖化と生物多様性の崩壊
原因は何か？	人間生活による環境負荷の増加・産業革命以降の効率化一辺倒の経済活動
何が問題か？	経済的価値の優位・効率化と画一化を招く経済活動・伝統的社会や地域環境の破壊・貧富の格差の拡大、ローカルの価値が壊されるようなグローバリゼーションのあり方
何をなすべきか？（目的）	人間としての生き方や考え方の転換・文化や自然の尊重・地球レベルにおける危機意識の世界的共有・文化の醸成・具体的な行動
目指すべきは何か？（目標）	人口増の制御・世界レベルでの富の公平配分・南北格差の是正・真の豊かさの追求・文化の多様性を認め合う意識の世界的共有・アンチグローバリゼーション・自然との共生を基盤とした経済・社会のしくみへの転換・
どうすればいいのか？（具体策）	ＧＤＰ信仰からの脱却・経済性優位の価値観の転換・ＣＯ２排出削減目標の策定・ＣＯ２に価格が付く社会づくり（環境税・排出権取引）・地域自立型再生可能エネルギーの普及・「はらはちぶんめ」や「もったいない」という暮らしの方のすすめ・地産地消の普及・自給率の増加・「農」に学び自然に親しむ機会の創出
京都の使命	・千年の都の歴史の中で培われてきた「人間は自然の一部である」といった自然観や価値観を基に、「自然と共に生きる知恵と感性」が今に伝えられ、地域固有の文化的蓄積がある。 ・学術研究機関や他分野にわたる人材が集結し、国際交流など各国の人々との交流が活発であり、市民の社会的文化的意識が高く進取の気質に富むなど新たな文化を創造しうる土壌がある。 ・京都議定書誕生の地として、世界的課題に対するメッセージを訴える力がある。

↓

脱温暖化社会づくりに向けた懇話会からの提案